

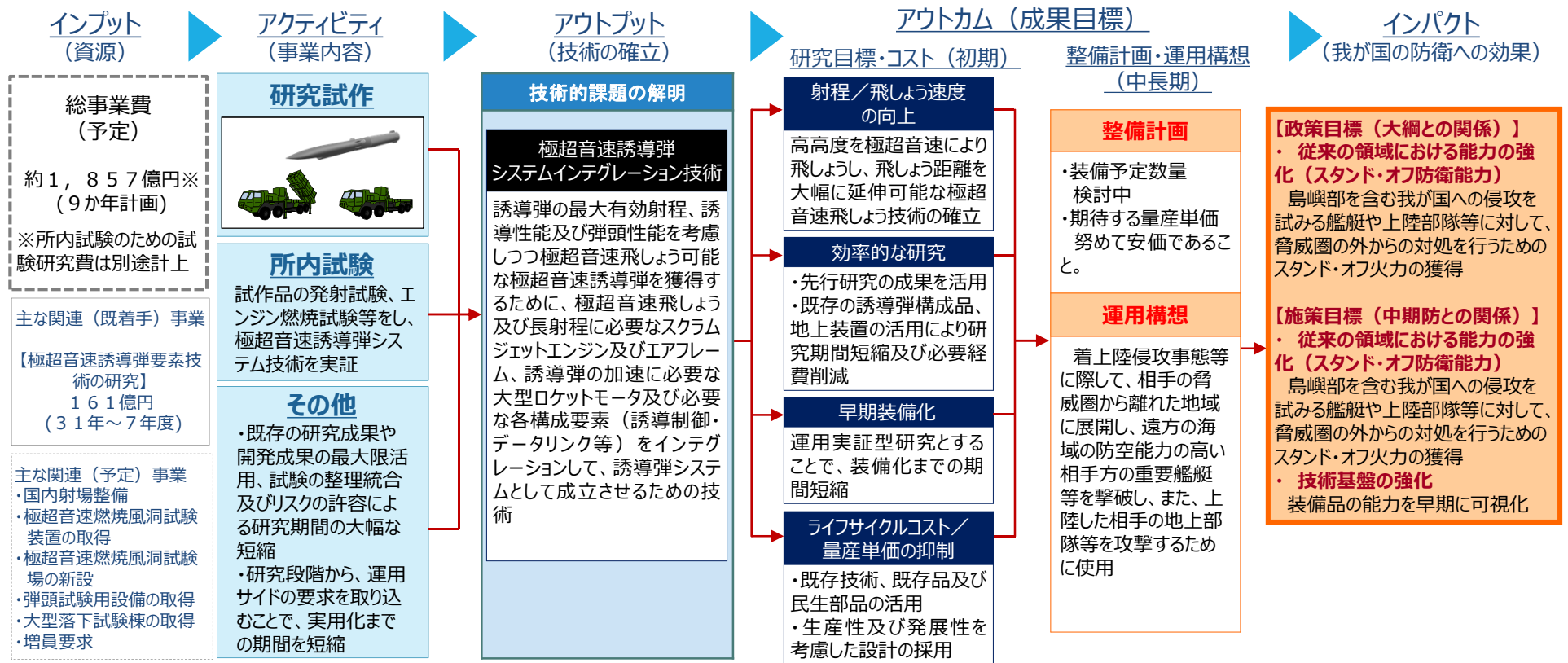
極超音速誘導弾の研究

【事業の概要】

着上陸侵攻事態等に際して、相手の脅威圏から離れた地域に展開し、遠方の海域の防空能力の高い相手方の海上目標及び相手方の地上目標を攻撃するために使用する極超音速誘導弾の早期装備化を運用実証型研究により実現する。

現状・課題

近隣国においては極超音速飛しようするミサイルの発射試験が繰り返されるなど、諸外国において極超音速兵器の研究開発が進展している。諸外国に対する我が国の技術的優位性を継続保持する観点より、我が国独自の技術として誘導弾に適用可能な極超音速飛しよう技術を早期に獲得し、極超音速誘導弾システム技術を確立することは、我が国の防衛力整備上の重要な課題である。



<研究実施線表>

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
実施内容					本事業 (研究試作)					
									所内試験	

総合評価

本事業を実施することにより、着上陸侵攻事態等に際して、相手の脅威圏から離れた地域に展開し、遠方の海域の防空能力の高い相手方の海上目標及び相手方の地上目標を攻撃することができるため、必要性が認められる。